

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	33	—	事業名	自主防災活動支援事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
------	----	---	-----	------------	------	-------------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいききとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	1	災害に強いまちをつくる	款	2	総務費
		施策の進め方	1	自主防災組織の確立	項	1	総務管理費
	まちづくり行程表	フラッグ	F2	「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	目	14	防災費
		政策分類	6	地域の安心安全をみんなでつくる	大事業	5	自主防災活動支援事業
	その他(関係法令、要綱等)	—					
事業開始の背景、経緯等	災害時には自助:共助:公助=7:2:1というように、自助及び共助が重要となることから、自助の啓発や、共助が可能となるよう資機材の貸与等を実施している。						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 自主防災組織を設立した地区及び設立を目指す地区が行う自主防災活動を支援することを目的とする。自主防災組織や自治会等からの防災講習会の申込みに基づき、市職員及び防災関連団体(防災ボランティア、日赤、消防団等)を派遣し、各地区の地元で防災講習会を実施する。また、新たに自主防災組織の設立を目指す地区について、①自治会単位での防災講習会または防災訓練を年間3回以上実施、②参加者が概ね世帯数の3分の1以上または30名以上、などの一定の条件を満たした場合に、防災倉庫及び防災資機材を貸与する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 自主防災組織や自治会等					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 防災意識を高めてもらうとともに、地域の絆を深め、地域防災力の高いまちを目指す。					
	事業を構成する事務事業	① 防災講習会実施事業	拡充	④			
	② 自主防災資機材貸与事業	拡充	⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	事業費(A)	千円	予算		3,200	3,417	1,778	2,727
			決算		3,214	1,835	1,648	
	人件費(B)	千円	決算		10,311	10,311	9,076	
総コスト(A)+(B)	千円	決算		13,525	12,146	10,724		

成果推移	成果指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	A 参加者数	人	目標	2,164	2,279	2,690	2,505	2,563
			実績	2,279	2,690	2,505	2,563	
	B 自主防災組織率	%	目標	—	57.8	61.7	67.6	65.1
			実績	—	59.8	65.7	63.9	
	C 貸与割合	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
実績			100.0	100.0	100.0	100.0		
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 自主防災講習会への参加者数の総計(前年度実績を目標値とする)								
B 全自治会数における自主防災組織の組織率(自主防災組織数÷自治会総数)目標値は2組織に増加した%とする。								
C 前年度に、倉庫及び資機材貸与の要望があった自治会に対し、実施に貸与した割合								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全国の市町村で同様に自主防災活動の支援を実施している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成28年度初めて実施回数、参加者数とも減少したが、今年度は、前年度に比して、ともに増加した。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 自主防災倉庫を設置した以降、一度も防災講習会を実施していない自治会が複数ある。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 自主防災倉庫を設置した以降、一度も防災講習会を実施していない自治会に対して、講習会の実施を働きかけていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 現在63.9%の倉庫設置率を平成32年度末までに70%とする。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		自主防災活動支援事業									
番号	①	事務事業名	防災講習会実施事業	款	2	項	1	目	14	大事業	5	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成10年度	終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	自治会等を対象に防災講習会を実施する。講習会メニューの中で、消防署、消防団等様々な団体との連携を図りながら、昨年度は63回実施した。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	防災意識の向上を図る。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		0	132	60	60
		決算		0	62	0	
<事業費の主な内訳（当該事業年度）>							
①							千円
②							千円
③							千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
参加者数	人	目標	2,164	2,279	2,690	2,505	2,563
		実績	2,279	2,690	2,505	2,563	
組織率	%	目標	-	57.8	61.7	67.6	65.1
		実績	-	59.8	65.7	63.9	
<備考：活動の概要（当該事業年度）>							
炊き出し訓練、家具転倒防止訓練、防災資機材の取扱訓練等を、自主防災組織向けに61回開催した。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

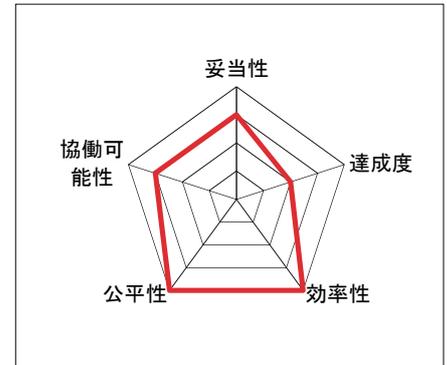
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
訓練参加者の拡大を図るため、講習会内容等について検討していく。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
倉庫設置以降一度も開催していない自治会に対して、自主防災講習会の実施を働きかけていく。
(何をどのような状態に改善したのか)
訓練メニューに家具転倒防止を追加するなど見直しを実施した。年度当初の市政協員会議の場で、自主防災講習会の実施について働きかけを行った。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	2
効率性	4
公平性	4
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
熊本地震において、家具固定の重要性が高まっている中、家具転倒防止をメニューに追加した。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
倉庫設置以降一度も実施していない自治会に対して、防災講習会の実施を働きかけていない。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
倉庫設置以降一度も開催していない自治会に対して、自主防災講習会の実施を働きかけていく。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		自主防災活動支援事業									
番号	②	事務事業名	自主防災資機材貸与事業	款	2	項	1	目	14	大事業	5	中事業	2
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成10年度	終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 1年間に、30人以上の防災講習会を3回実施した自治会等へ防災倉庫及び防災資機材の貸与を行う。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域における自発的な防災意識の向上及び自主防災活動の啓発。

2. コスト推移

項目	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
事業費	千円	予算		3,200	3,417	1,778	2,667
		決算		3,214	1,835	1,648	
＜事業費の主な内訳（当該事業年度）＞							
① 自主防災機材						903	千円
② 自主防災倉庫設置工事						670	千円
③ 消耗品費						70	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
貸与割合	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績	100.0	100.0	100.0	100.0	
		目標					
		実績					
＜備考：活動の概要（当該事業年度）＞							
2つの自治会に対し、自主防災倉庫設置及び資機材の貸与を行った。							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

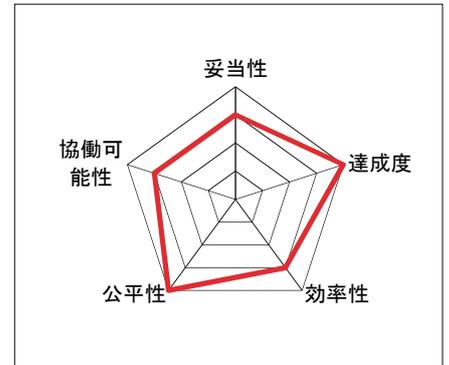
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近年開発が進む大型マンション等は、既に建物内に防災倉庫及び資機材の整備がなされており、市からの貸与を必要としていない。そのため、自治会数は増加していくが、要望が少ない状況である。

5. 前年度からの改善状況

＜参考：前年度の事務事業評価のコメント＞ 平成28年度は4自治会に対して、資機材貸与を行うこととしていたが、今年度は2自治会に対して資機材貸与を行う予定である。また、今後、設置していない自治会への、情報提供や設置の推進方法の検討が必要。
(何をどのような状態に改善したのか) 参加住民の確保が難しい自治会等に対して、講習会への講師派遣等だけでなく、開催に向けての支援についても実施した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	4
効率性	3
公平性	4
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど) 毎年設置要望があり、少しずつではあるが設置自治会が増加している。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど) 設置自治会の地域に偏りがあり、東の地域に設置が少ない傾向にある。
--

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など) 平成29年度は2自治会に対して、自主防災倉庫設置及び資機材貸与を行うこととしていたが、今年度は4自治会に対して自主防災倉庫設置及び資機材貸与を行う予定である。また、今後、設置していない自治会への、情報提供や設置の推進方法の検討が必要。
